

明治8年創業



宮崎ふとん店の

SDGsへの取り組み



2030年のあるべき姿



寝具に関する地産地消を目指し、永くリサイクルして使える商品を開発・販売します。専門店にしかできないメンテナンス体制を自社に作り、対話を重視した接客を行なっていきます。



SDGs達成にむけた取り組み



12 つくる責任
つかう責任



みやざき羽毛工房(羽毛再生工場)

傷んだ羽毛ふとんの中からダウンを取り出し洗浄します。新しい側地に自社で羽毛リフォームをすることで、再びお客様に利用していただけます。

不要になった羽毛ふとんの中身のダウンを洗浄し、リサイクルダウンにして、新しい側地に吹き込み羽毛ふとんを製造します。それを自社のエコブランド富士山SDGs羽毛布団として販売します。



みやざきクリーンルーム

ご購入いただいた商品を長くご利用していただくために除菌消臭のサービス等をクリーンルームで行います。



3 すべての人に
健康と福祉を



ピマピッタ(最新非接触測定器)

最新の非接触の測定器で、お客様にピッタリあった枕やマットレスの提案をし、お客様のより良い睡眠に貢献します。

計測されたデータをもとにプロのアドバイザーが寝具選びをアドバイス



14 海の豊かさを
守ろう



ポリエステル繊維の商品をできるだけ減らし、地球環境にやさしい、天然素材の商品を増やしていきます。



今までもこれからも、地球にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい地域密着企業を目指します

